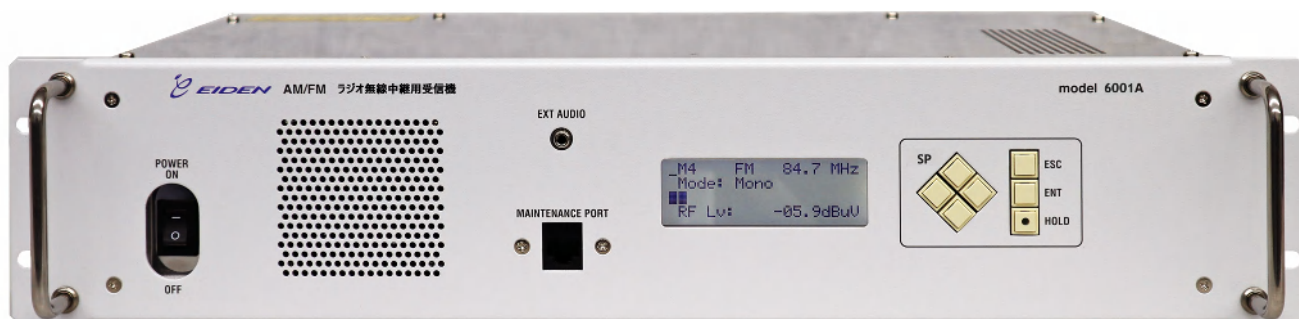


AM/FM ラジオ無線中継用受信機 6001A

～AM/FMハイブリッド放送中継ネットワーク用の無線中継用受信機～



概要

本装置は中波ラジオ放送波（AM放送波）またはFM放送波を受信、復調しアナログ音声信号を出力可能なオールチャンネル対応の無線中継用受信機です。AMまたはFMラジオ放送中継ネットワークの他、特に中波ラジオ放送局が取り組むことが予想されるAM-FM転換事業において、AM/FM局が混在する放送中継ネットワークでも使用することが可能です。また、非常時には外部音声入力端子にモバイルデバイスを接続し、インターネットラジオなどの番組音声をステレオで出力することができる装置です。

用途

(1) 緊急時に放送を継続させるためのバックアップ設備

災害などでSTL/TTL回線やIP回線を介しての番組素材伝送ができなくなった場合、本装置で受信可能なAM/FM放送波の復調アナログ音声出力やインターネットラジオの音声出力を再送信することにより、緊急時でも放送を継続することができます。

(2) 中波ラジオ放送局のAM-FM転換事業におけるエリア・世帯カバー率維持用の設備

AM-FM転換事業において、既存AM放送局を放送ネットワークに含める場合の受信機として活用することが可能です。（裏面の図参照）

特長

- (1) **AM放送波（522～1629kHz）、FM放送波（76.1～107.9MHz）の1波**を選局し、音声を出力します。
- (2) モバイルデバイスの音声を音声外部入力（3.5Φミニジャック）に接続し、レベル調整後、ステレオ音声を出力することが可能です。
- (3) AM放送波の受信帯域幅を可変できます。（**2～20kHz 2kHz step**）
- (4) AM/FM波の復調音声をカットオフ周波数可変LPFにより帯域制限することが可能です。
（**1～10kHz 0.1kHz step**）
- (5) 10Wのスピーカで復調音声をモニタすることができます。（ドライブは2W）
- (6) 背面の外部接点入力端子（Dサブ9ピンコネクタ）を介して、4種類のプリセット受信周波数選択が可能です。
また、電源アラーム、CPUアラームを接点で出力することができます。
- (7) 送信所から出力する放送波を減衰させるノッチフィルタをオプションで用意します。詳細はお問合せください。
- (8) 20文字×4行のLCDとキー操作により容易に操作が可能です。
- (9) AM/FM各入力、電源入力にはサージプロテクタ回路を実装しています。
- (10) 自然空冷方式です。

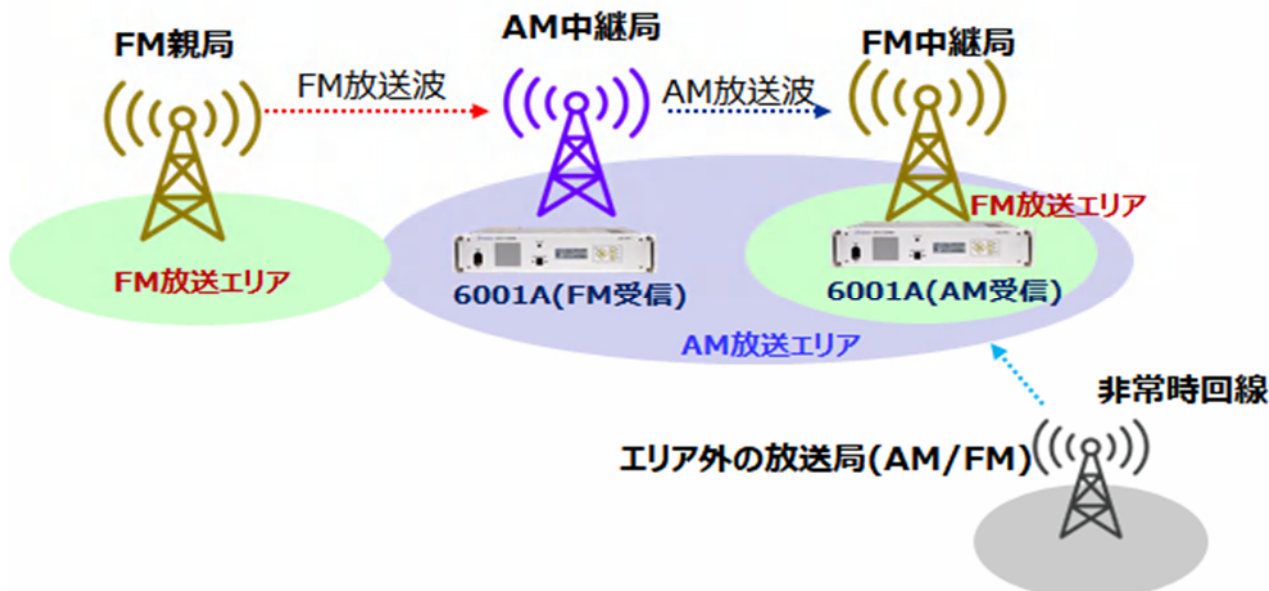
※「ラジオ放送局における緊急時のバックアップ設備の一つとして利用を検討したい」というお声を多くいただいております。



機能・仕様

項目	仕様
RF入力中心周波数範囲	AM : 522~1629kHz/9kHz step FM : 76.1~107.9MHz/100kHz step
受信感度	AM : 20dBuV以下(S/N=10dB) AM変調度30%時 FM : 10dBf (-3dBuV)以下(S/N=20dB) FM変調度 : モノラル100%時 AM/FMいずれも1波入力時で評価
AM/FM入力	50Ω BNC-R AM/FM専用入力を有し、切り替え可能
外部音声入力	0.2Vrms±6dB
音声出力(L/R)	+10dBm+3dB、-20dB(AM/FM変調度 : 100%時) 600Ω不平衡 キャンノメス
音声出力周波数範囲	50Hz~10kHz
AM復調帯域制限フィルタ	2~20kHz/2kHz step
復調音声帯域制限フィルタ	1~10kHz/0.1kHz step
音声モニタ用スピーカ	10W (但しドライブは2Wまで)
イーサネット端子	ソフトウェアのバージョンアップ時のみに使用
接点入力	4系統の接点入力であらかじめプログラムした4種類の設定呼び出しが可能
アラーム接点出力	電源アラームとCPUアラームのorをとり、異常時にクローズ
形状・質量	480mm(W)×99mm(H)×400mm(D) ※突起物含まず 約6.5kg
電源	100/200V±10% 30VA以下
空冷方式	自然空冷

【中波ラジオ放送局のAM-FM転換事業（既存AM局を活用する場合）における活用事例】



型名・オプション情報（各種フィルタについてはお問合せください）

型名	内容	型名	内容
6001A-001	AM/FMラジオ無線中継局用受信機本体		

